
阿南駅周辺まちづくり基本計画

【概要版】



令和5年10月
阿南市

表紙、p.5、p.8、裏表紙に掲載のイメージパースは、阿南市出身でニューヨークに在住の「阿南市魅力ある都市づくり審議会委員」吉原弘記様よりご提案いただいたものです。

なお、これらの掲載したパースは日常のシーンをとらえたイメージであり、施設整備の詳細を確定したものではありません。

目次

1. はじめに

- ①まちづくり基本計画策定の趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- ②計画策定の流れ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
- ③本計画の対象区域・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

2. まちづくりのコンセプト及び基本方針

- ①まちづくりのコンセプト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
- ②まちづくりの基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

3. 公共用地等における整備活用方針案

- ①段階的な取組の流れ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
- ②短期的に推進する取組(市民会館解体跡地における整備方針の具体化)・・・・・・・・5
- ③新図書館複合施設の導入機能案・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7

4. 対象エリアのランドデザイン(将来イメージ)・・・・・・・・・・・・・・8

5. 事業計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9

6. 実現化方策

- ①新図書館複合施設における施設配置イメージの検討・・・・・・・・・・・・・・10
- ②事業スケジュール(案)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11

1 まちづくり基本計画策定の趣旨

本基本計画では、令和4年3月策定の阿南駅周辺まちづくりビジョンにおけるまちづくりの基本方針を踏まえ、検討対象区域全体を俯瞰したランドデザインの将来イメージを示すとともに、短期的取組として位置付けた市民会館解体跡地における具体的な整備基本方針を計画として取りまとめ、ビジョンの具現化を目指します。

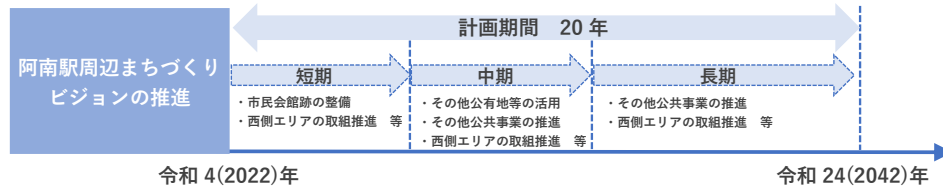
阿南駅周辺まちづくりビジョンの概要

ビジョン策定の目的

ビジョンに基づく取組を推進し、多様な利用者に喜ばれるサービスを構築することにより、駅周辺エリアの価値を高め、持続可能なエリアマネジメント(地域経営)の新たなモデルとして体現すること

計画期間

概ね20年後の令和24(2042)年まで
短期的取組である市民会館跡地活用を重点取組として位置づけ



まちづくりのコンセプト

公共空間を活かし、人・環境・経済がつながり好循環する、
将来世代のための駅周辺エリアの新たな物語

まちづくりの基本方針

- 1 新たな賑わいと交流を創出し、中心拠点としての魅力・求心力を高めるまちづくりの推進
- 2 恵まれた自然環境、豊かな産業や歴史文化が共生するまちで豊かに暮らすことができる誰もが暮らしやすい居住環境の形成
- 3 JRをまたぐ東西市街地の連携強化
- 4 公民連携を通じた公共用地等の有効活用による複合的な都市機能の創出、並びに多様な主体による取組との連携可能なまちづくりの推進

土地利用方針

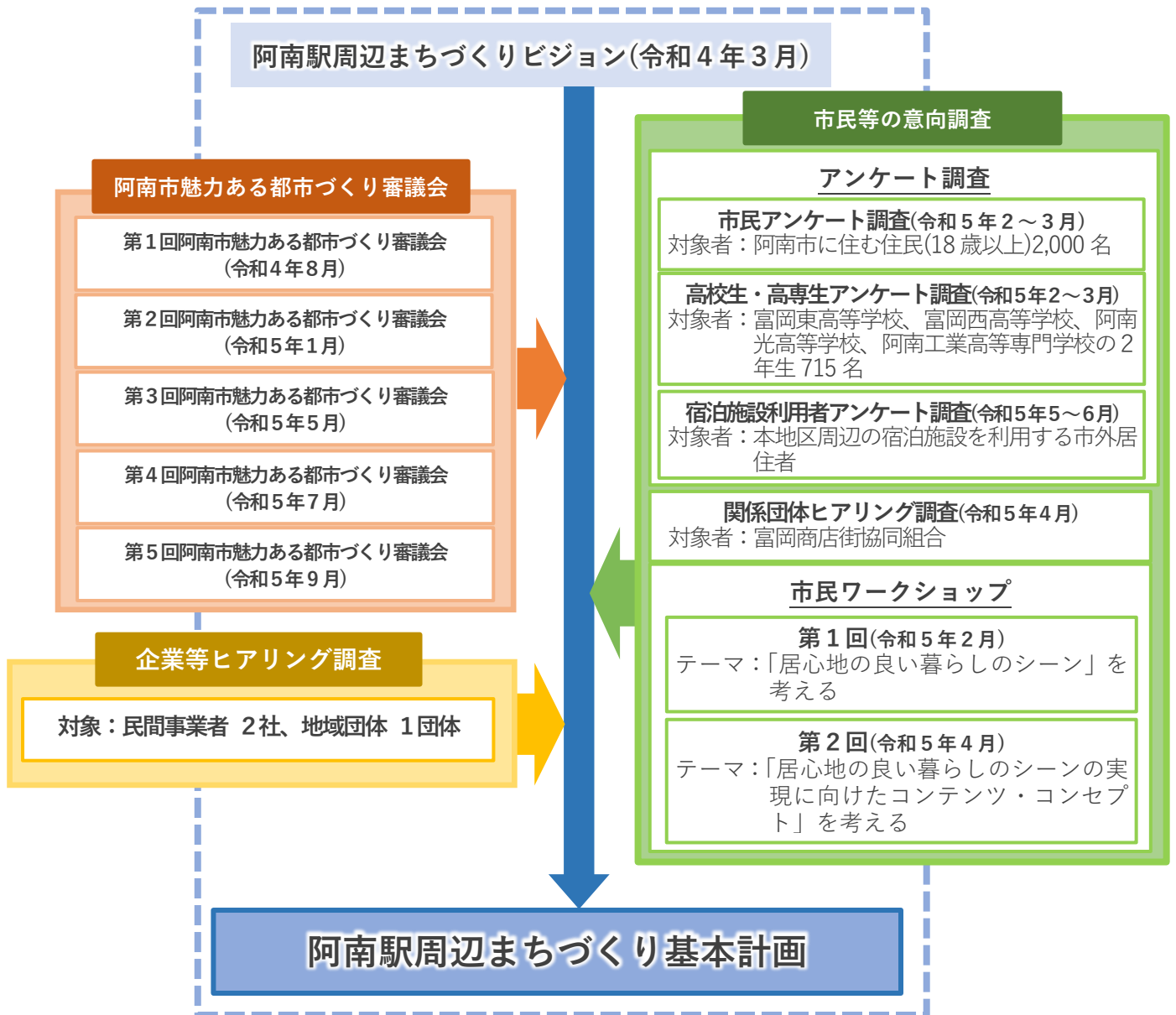
1. 駅西側：憩い・文化・居住エリアの形成
2. 駅東側：利便性の高い都市型居住エリアの形成
3. 新たな賑わいと交流の起点となる複合拠点等の形成
4. 東西市街地の一体性・波及性を高めるネットワークの強化

導入機能(案)

	A案	B案
キャッチコピー	人が集い共に何かを育めるまち	心と身体がイキイキできる「健幸」なまち
コアターゲット	市内外からの子育てファミリー層	市内外からの子育てファミリー層
サブターゲット	新たな取組(チャレンジ)を生み出す多様な世代	心身の健幸を志向する多様な世代
導入コア機能(案)	市民会館解体跡地	図書館機能+集合住宅
	阿南図書館用地	暫定緑地広場(民間の開発促進地)
	商工業振興センター前用地	健康機能・娯楽機能(屋外スポーツ広場+交流施設)
	図書館機能+子育て支援施設	図書館機能+子育て支援施設

2 計画策定の流れ

本基本計画では、ビジョンの方針を踏まえつつ、市民等の意向を広く把握しながら各公共用地における具体的な整備方針や事業手法等について検討を行いました。



市民ワークショップ実施の様子



3

本計画の対象区域

本計画では、下図を対象区域とします。



2

まちの将来像

計画策定に向けて行った各種調査、まちづくりワークショップで挙げられた意見等を踏まえ、阿南駅周辺地区における理想とするまちの将来像を以下のように設定します。

まちなかで自由に時間を
過ごせるまち

人が集い、ともに育めるまち

子育てがしやすいまち

新たな仕事・産業が生まれるまち

若い世代を育むまち

2

まちづくりのコンセプト及び基本方針

1

まちづくりのコンセプト

「阿南駅周辺まちづくりビジョン」におけるまちづくりのコンセプトを引継ぐこととし、以下に示します。

まちづくりの コンセプト

公共空間を活かし、人・環境・経済がつながり好循環する、
将来世代のための駅周辺エリアの新たな物語

2

まちづくりの基本方針

「阿南駅周辺まちづくりビジョン」で整理した内容を基に、本計画におけるまちづくり上の課題を以下のとおり設定します。

まちづくりの基本方針

1

新たな賑わいと交流を創出し、中心拠点としての魅力・求心力を高めるまちづくりの推進

- 阿南駅の西側には、中心市街地機能の中心である富岡商店街をはじめとする商業機能、官公庁機能や福祉機能等が集積しています。そのため、**市民会館跡地の活用を中心とした都市的環境に優れた賑わいと交流の創出を図り、西側の多様な都市機能の集積が一体となった中心拠点としての魅力・求心力を高めるまちづくりを推進**します。
- また、まちづくりの推進により、**地区内の消費を創出するとともに、消費が新たな地区内における投資を呼び込む好循環**の形成を目指します。

2

恵まれた自然環境、豊かな産業や歴史文化が共生するまちで豊かに暮らすことができる誰もが暮らしやすい安全・安心な居住環境の形成

- 阿南駅周辺の人口密度は一定程度高いものの、今後の人口減少の進行による都市サービス機能の維持困難が懸念されるなか、まちなか居住促進による定住人口の確保が必要です。そのため、市民会館跡地の活用を起点としながら、**山や海に恵まれる市内の豊かな自然環境や市内各所にみられる歴史文化等の地域資源、就業環境が身近にあるまちの特色を活かした誰もが暮らしやすい居住環境の形成**を推進します。また、市内で想定される多様な災害リスクを考慮した**安全・安心な居住環境の形成**を目指します。

3

JR をまたぐ東西市街地の連携強化

- JR 阿南駅周辺地区の東西エリアは JR 牟岐線を境に東西が連携する一体としたまちづくりが難しい状況にあります。そのため、**阿南駅西側と東側のエリアが一体となった中心拠点の形成**に向けて、**東西市街地の連携強化を見据えたまちづくりを推進**します。

4

公民連携を通じた公共用地等の有効活用による複合的な都市機能の創出、並びに多様な主体による取組との連携可能なまちづくりの推進

- 都市的環境に優れたまちづくりを進めるため、**公民連携により市民会館跡地等の公共用地の有効活用**を推進し、**高次の複合的な都市機能の創出**を目指します。
- 阿南駅西側での**多様な主体により推進されている取組と中長期的に連携可能なまちづくりを推進**します。

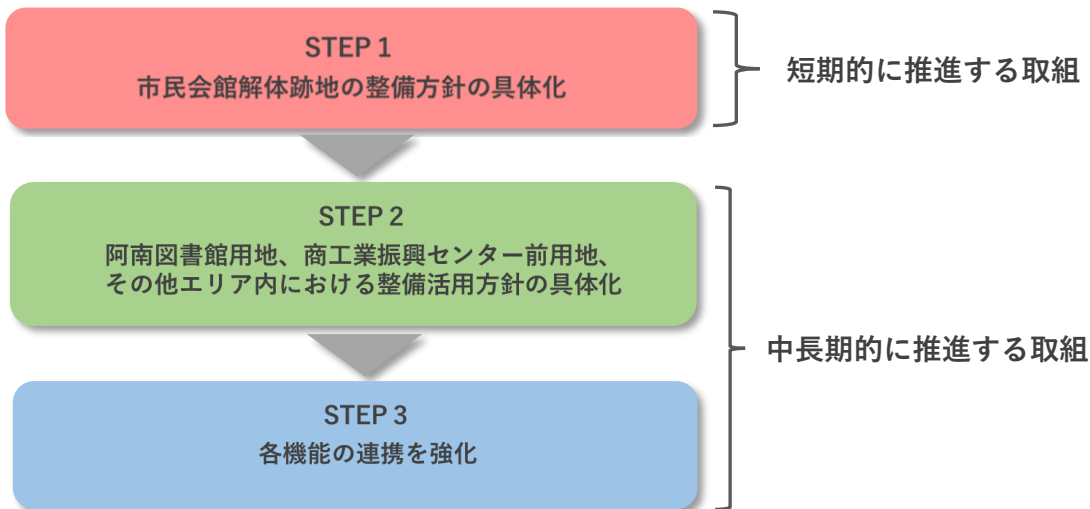
3

公共用地等における整備活用方針案

1

段階的な取組の流れ

阿南図書館用地、市民会館解体跡地、商工業振興センター前用地の3つの公共用地及びその他の整備活用について、以下に段階的な取組の流れを示します。



2

短期的に推進する取組(市民会館解体跡地における整備方針の具体化)

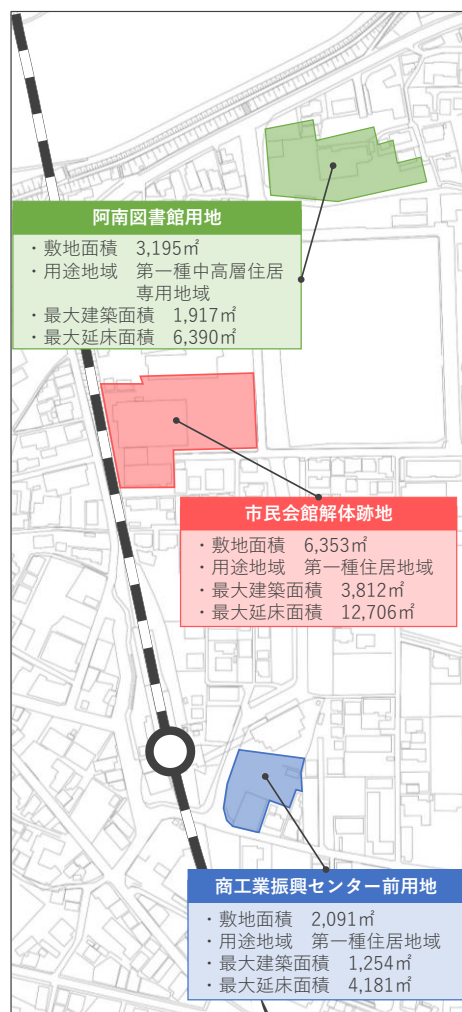
市民会館解体跡地の活用を具体化するために市民会館解体跡地の整備方針を検討します。3か所の公共用地を検討する中で、市民ニーズが高くかつてエリア内に存在していた機能である「新図書館」の整備箇所についてアンケート、ワークショップ、関係団体ヒアリングを実施しました。その調査結果をもとに求められる立地特性を評価し、阿南図書館用地、市民会館解体跡地、商工業振興センター前用地の3用地の中から新図書館複合施設の整備箇所を市民会館解体跡地に選定しました。

新図書館複合施設の整備イメージ (地区東西を結ぶデッキの西側から東側を望む)



立地特性の評価

		調査結果
アンケート	市民	駐車場台数が多く停めやすい環境が重視されている (72.0%)
		車でのアクセスのしやすさが重視されている (54.1%)
		館内の広さが重視されている (46.7%)
	学生	館内の広さが重視されている (63.9%)
		自転車でのアクセスのしやすさが重視されている (40.7%)
	市外からの転入者	駐車場台数が多く停めやすい環境が重視されている (70.6%)
ワークショップ	みどり豊か、静かな環境等の環境・デザインを大事にしたい意見が多い (1番目に多い)	
	複合機能の多さ、多様な利用者等の多様性を大事にしたい意見が多い (2番目に多い)	
	駅・バス停に近い東西の行き来がしやすい等の立地を大事にしたい意見が多い (3番目に多い)	
	人の行き来を促進させる仕掛けが必要	
ヒアリング	西側に人を誘導できる仕掛けが必要	
	高校生、子育て世代、主婦等の未来を見据えたターゲット設定が重要	



◎: 2点、○: 1点、△: 0点

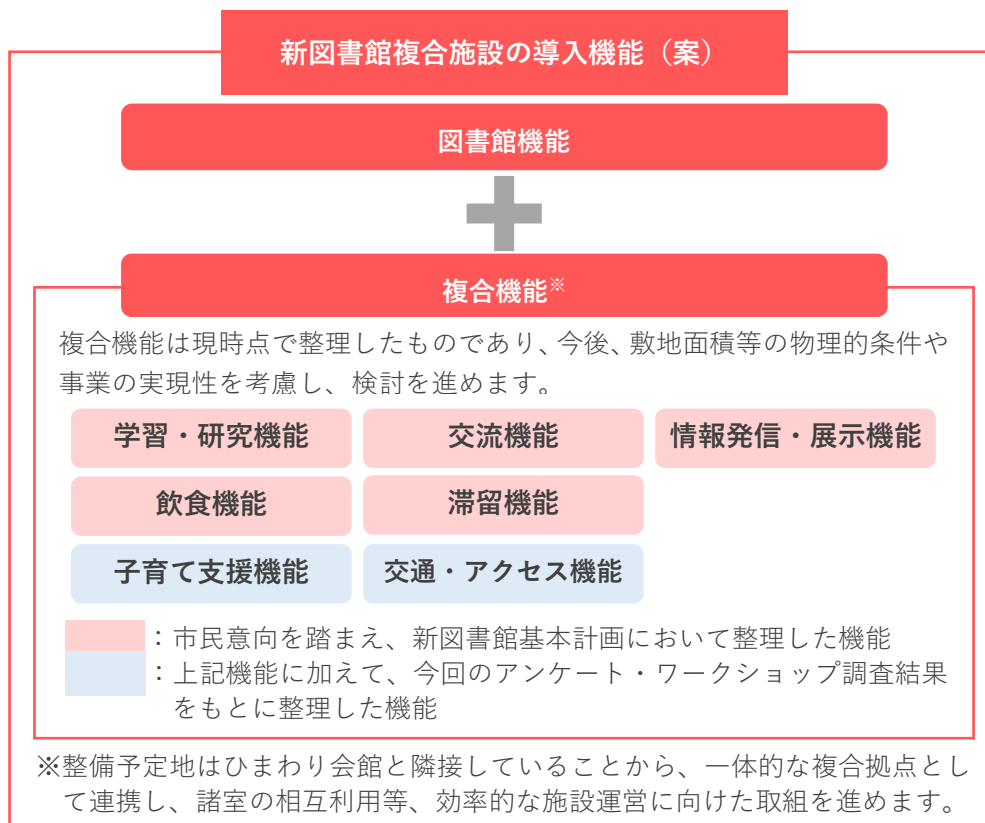
求められる立地特性		阿南図書館用地	市民会館解体跡地	商工業振興センター前用地
①	敷地面積が大きい箇所への配置	○	◎	△
②	車でのアクセスがしやすい箇所への配置	○	◎	△
③	多くの床面積を確保できる箇所への配置	○	◎	△
④	自転車でのアクセスがしやすい箇所への配置	○	○	○
⑤	多様な利用者が利用しやすい箇所への配置	○	○	○
⑥	駅やバス停に近い箇所への配置	△	○	◎
⑦	東西の行き来を促進させる箇所への配置	△	○	◎
⑧	人の行き来を促進させる箇所への配置	△	○	◎
⑨	高校生がアクセスしやすい箇所への配置	△	◎	○
⑩	子育て世代、主婦がアクセスしやすい箇所への配置	○	○	○
合計		6点	14点	10点

3

新図書館複合施設の導入機能案

図書館の従来機能の充実に加えて、一日中図書館で過ごせるような滞在環境や、幅広い市民活動及び市民同士の交流、創造的活動等に資する場の充実が求められています。こうした意向に応える諸室機能としては、以下に示す内容を想定し、今後、新図書館複合施設全体の機能配置等を検討する中で導入可否や配置等を検討します。

新図書館複合施設の導入機能案



図書館と複合機能の整備による地区への波及効果例

- 市民が生涯にわたり自ら学ぶ場として図書館を活用することにより、生活満足度が向上し、住みたい・住み続けたい地区になる
- 市民の多様な利用ニーズに応える場として図書館を活用することにより、来館者が増加し、その来館者が地区内に滲み出し、地区内の新たな賑わいが創出
- 市民が集い、出会い・交流・創造の場として図書館を活用することで、市民団体等による活動が促進されて活動の領域が地区内へ波及、多世代交流の場となり地域コミュニティが活発化、企業同士や官民のコラボレーションが発生し新たな産業が創出

4 対象エリアのグランドデザイン (将来イメージ)

短期的に推進する取組、中長期的に推進する取組をもとに、対象エリアの20年後を目標とするグランドデザインを以下に示します。



5 事業計画

本地区のまちづくりの実現に向け、以下の事業計画を想定します。なお、事業の進捗により、本スケジュールは変更の可能性があります。

阿南駅東側

阿南駅東側の3つの公共用地では令和10年度～令和11年度の新図書館複合施設供用開始に向け、以下のように各種事業を推進します。また、新図書館複合施設の供用開始に向けて令和8年度に2地区で社会実験*を実施し、事業の実現可能性を高めつつ、各事業の連携方策について検討します。

※社会実験：事業成功の確度を高め、地域におけるにぎわいの創出やまちづくり等に資する取組とすることを目的とし、整備に先立って、関係行政機関、地域住民、事業者等の参加のもと、場所や期間を限定して当該取組の試行・評価を行う。

市民会館跡地における事業計画

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
市民会館解体跡地	新図書館基本計画策定	官民連携事業可能性調査 社会資本整備計画策定	事業者公募	設計	設計	工事	新図書館供用開始
	市民会館解体工事		設計	設計	工事	新図書館供用開始	新図書館供用開始
						民設民営方式による事業実施 公設公営・公設民営方式による事業実施	

阿南図書館用地、商工業振興センター前用地における事業計画

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
阿南図書館用地	解体設計	解体工事		物販・飲食等の社会実験 事業者や関係者等のニーズ把握	緑地・広場設計	緑地・広場整備	物販・飲食機能等の事業実施
商工業振興センター前用地				交流・物販・飲食等の社会実験	施設・広場整備	交流・物販・飲食機能等の事業実施	

社会実験

6

実現化方策

1

新図書館複合施設における施設配置イメージの検討

形状や面積等の敷地条件、導入機能案等より想定される新図書館複合施設の施設配置イメージを複数案検討します。なお、これらの配置イメージは、今後の設計等の段階で改めて詳細に検討する必要があります。

	パターン①	パターン②	パターン③	パターン④
イメージ図				
新図書館階数	地上 2 階	地上 3 階	地上 3 階 地下 1 階	地上 3 階
敷地面積	6,353 m ²	6,353 m ²	6,353 m ²	6,353 m ²
延床面積	4,920 m ²	4,920 m ²	4,920 m ²	4,920 m ²
新図書館建築面積	2,460 m ²	1,640 m ²	1,640 m ²	2,460 m ²
駐車場面積	1,850 m ² (地上駐車場)	1,850 m ² (地上駐車場)	1,850 m ² (地下駐車場)	1,850 m ² (地上駐車場)
広場面積	約 1,500 m ²	約 2,400 m ²	約 4,500 m ²	約 3,000 m ²
○：特長 △：留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広い建築面積のため広々とした空間が確保できる ○ 駐車場が建物及び広場の中間に設置され、2施設へのアクセスが良い △ 広い建築面積を要するため、広い広場面積を確保することができない △ 建物高さが比較的低いため、ランドマーク性に乏しい △ 広場でイベントを実施する場合、新図書館複合施設との関連性を持たせにくい △ 東西をつなぐ跨線橋を整備する場合、屋上高さからのアクセスとなることが想定される 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 比較的コンパクトな建築面積であるため、広い広場面積を確保することができる ○ 建物高さが比較的高いため、ランドマーク性に優れる ○ 東西をつなぐ跨線橋を整備する場合、3階建物内からアクセスすることが可能 ○ 広場でイベントを実施する場合、新図書館複合施設と広場が隣接しているため関連性を持たせやすい △ 3階建て建物のため、広々とした空間が確保しにくい △ 駐車場から広場へのアクセスが悪い 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 比較的コンパクトな建築面積であり、駐車場を地下に配置しているため、最も広い広場面積を確保することができる ○ 建物高さが比較的高いため、ランドマーク性に優れる ○ 東西をつなぐ跨線橋を整備する場合、3階建物内からアクセスすることが可能 ○ 広場でイベントを実施する場合、新図書館複合施設と広場が隣接しているため関連性を持たせやすい △ 3階建て建物のため、広々とした空間が確保しにくい △ 駐車場から広場へのアクセスが悪い △ 市民会館解体後の杭等の地下残置物に配慮が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広い建築面積のため広々とした空間が確保できる ○ 建物高さが比較的高いため、ランドマーク性に優れる ○ 駐車場が建物1階に設置され、2施設へのアクセスが良い ○ 東西をつなぐ跨線橋を整備する場合、3階建物内からアクセスすることが可能 △ 広場でイベントを実施する場合、新図書館複合施設との関連性を持たせにくい

2

事業スケジュール（案）

本地区のまちづくりの実現には、新図書館を中心とした複合施設の整備のほか、民間提案制度等による官民が連携した多様な取組を実践し、エリアマネジメントを推進することが求められます。そのため、新図書館複合施設の整備を第一段階としての短期的な取組と位置づけ、地区全体で中長期的に民間プレイヤーと連携した多様な取組を重ねながら、段階的にまちの将来像の実現を目指します。

